



ナイス ヒツ nice なく見つけちゃいました!

◎ 今月のいいね



静内庁舎前
懸垂幕



8月24日表敬訪問
(全国優勝を報告)

お母さんの馬術部の
同級生 片桐美咲さん

静高馬術部の
仲良し3人組

ユニークな馬術部の
先輩 保坂優季さん



全日本高等学校馬術選手権大会 全国優勝 本間駿名さん(2年生)※写真中央

全日本高等学校馬術連盟主催の第33回全日本高等学校馬術選手権大会が8月9、10日にノーザンホースパーク(苫小牧市)で開かれ、静内高等学校2年生の本間駿名さんが個人戦で全国優勝を果たしました。

■乗馬を始めたきっかけなど

牧場を経営する父と獣医師の母のもと、自然と馬に親しみ、幼い頃から自宅で馬に乗っていました。母が指導者の一人として務める静内乗馬スポーツ少年団に小学4年生のときに入団し、自宅で自主練習を重ねながら、ライディングヒルズ静内で練習し、中学2年生からは、週に1回~3回程度、にいかっぴあホロシリ乗馬クラブでもレッスンを受けています。乗馬を続けることができていますのは、両親はもちろんのこと、兄の存在がとても大きいです。幼いころから兄とともに馬術を学んでいたため、兄への憧れや認めてもらいたいという一心で練習をしていました。練習のとき、兄はとても厳しいですが、試合後には優しい言葉を掛けてくれて、何度も励まされたことを覚えています。

■全国大会を終えて

大会運営のほか、会場や素晴らしい馬を提供して下さったノーザンホースパークさん、関係者の皆さんに、本当に感謝しています。ありがとうございました。

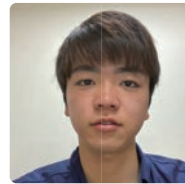
全日本大会で華麗な技術 を見せた本間さん

全国の地区予選を勝ち抜いた精鋭28人による個人戦。

1回戦の基本障害では全体1位でコマを進め、2回戦の馬場馬術でも全体1位で突破。3回戦の障害飛越ではグループ1位。準々決勝・準決勝の馬場馬術・障害飛越でもグループ1位で通過。完璧な状態で迎えた決勝戦では、バーを1本落としたものの、終始安定した馬術で高得点をマークし、全国優勝を果たしました。



馬場馬術
馬のさまざまな歩様やステップなどによる運動技術の正確性と美しさを競う



お兄さんの
本間飛鳥さん
国立東京農工大学
工学部 化学物理工学科
(馬術部 副将)

僕も選手権大会に出場経験があり貸与馬戦の難しさは大変よく分かります。数分間で初めての馬の特徴を掴んで乗りこなすにはかなりの技量が必要です。その大会で優勝したことを兄として大変誇らしく思います。

大会での妹の騎乗動画を観ましたが、本当に上手になったなと深く感じました。これからは馬術だけではなく、勉強もしっかりやって僕と同じ東京農工大学の馬術部に入ってくれるとうれしいですね。

■今後の目標

10月1日から栃木県で行われる国体で北海道代表として良い成績を残せるように頑張りたいです。大学に進学し、海外に留学して、さらに馬術を学び、将来的には、馬場馬術専門の乗馬インストラクターになりたいです。

撮影者：馬術部 OB
片桐美咲さん



障害飛越
高さ90センチ~110センチの障害物を飛び越え、その技術を競う